

本日、「津和野町日本遺産センター」の開所式がこのように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

下森町長をはじめ、「センター」の開設にご尽力された関係の皆様へ深く敬意を表する次第です。

「日本遺産」認定が始まった最初の年に『津和野今昔～百景図を歩く～』が認定されましたことは、島根県にとりまして大きな誇りとなるものであります。

津和野は、一昨年の豪雨災害により被害を受けましたが、昨年には運休していたSL「やまぐち号」も復活し、観光客数も徐々に回復しつつあると、お聞きしております。この度の認定が、大きな追い風になることと期待しております。

さて、「津和野の今昔」の様子が対比できる基となった「津和野百景図^(注)」につきましては、実物を町長さんがわざわざ県庁まで持ってこられ、私も見せていただきましたが、「素晴らしいものがあつたのだなあ。」「さすがに古き文化・歴史の豊かな津和野だなあ。」と思いました。

古き津和野を描いた「百景図」にあるものと同じような今の津和野の街並みや、景観、伝統芸能などは、津和野の皆様が大切に守ってこられた大事な遺産であり、島根にとっても貴重な歴史的遺産であります。

このセンターでは、津和野の文化・歴史などの紹介だけでなく、まち歩きプランの提供や、人材育成などにも取り組まれるとお聞きしております。

今後、センターが中心となって町づくりや、観光地づくりがより一層推進され、国内だけでなく海外からも広く注目されていくことを期待致します。

終わりに、津和野町のさらなる発展と、ご列席の皆様方の益々のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

(注) 津和野藩主の家系、亀井家第16代目 亀井茲基 様より、津和野町に平成14年に寄贈されたもの。